

大腸CTコース

40歳を超えた頃からリスクが高まる大腸がん。
早期に発見して治療を開始すれば、高い確率での完治が見込めます。
早期発見のため、定期的に大腸CTを受診してみませんか。

大腸CT検査とは？

“仮想大腸内視鏡検査”と言われる、内視鏡を使わない大腸検査です。大腸を炭酸ガスで膨らませ、CT撮影を行うことで大腸の3次元画像を得ることができます。内視鏡検査と比較すると苦痛や違和感が少なく短時間で検査でき、これまで大腸の精密検査に抵抗があった方にもおすすめです。便潜血反応検査と併せて受診することで、精密に検査を行うことができます。

検査方法

● 検査前日

検査食と下剤で腸の中をきれいにします。

造影剤を使用することで、ポリープの検出精度が大幅に向上がります。

● 検査当日

検査前に、腸の動きを抑える薬を注射します。

細いチューブを肛門に挿入し、炭酸ガスを注入して大腸を拡張させます。

撮影はうつぶせと仰向けの合計2回行います。

※健診とは別日に検査を行います。完全予約制です。

検査時間
約20分

料金（税込）30,800円

お問い合わせ

医療法人豊田会

刈谷豊田総合病院
健診センター



0566-25-8182 (直通)

月

～金

10:00～16:00 (病院休診日を除く)